

2025年草の根育成助成事業

おいでよ！ こどもの秘密基地♪



こどもの居場所作り@府中
(代表) 南澤かおり

私たちについて



- 2015年11月** 任意団体設立
- 2016年4月** こども食堂オープン
以降 毎月1回 第4月曜日の夕方開催
会場：主に片町公会堂
片町文化センター
美好町1・2丁目公会堂
費用：大人300円 こども無料
対象：こども または親子
ボランティアスタッフ：17人
運営費：市の補助金、物資含めたご寄付
草の根育成助成事業
「ひろがれ！」こども食堂」受託
- 2017年4月**
- 2020年3月** コロナ禍で経済的困窮を抱えた家庭への
食材支援開始
以降、ひとり親家庭を対象とした
フードパントリーを毎月開催
- 2020年8月** お弁当の会の開催
- 2025年4月** こどもの秘密基地「ぷらす」開設

年間の事業収支（2024年度）

	収入	支出	
自治体補助金（こども食堂）	480,000	480,000	年14回
自治体補助金（フードパントリー）	720,000	720,000	毎月1回 ほか、毎週パンを配布
寄付（市民より）	120,000	120,000	備品購入 ひとり親家庭を対象と したバーベキュー開催など

きっかけは・・
ひとり親家庭を対象にしたフードパントリー

ひとり親家庭を対象にしたフードパントリー



毎月やってくる親子達。
生活すること、子育ての悩みを
ひとりで抱えるしんどさが会話のなか
から見えてくるようになった。

親の精神疾患
こどもの不登校
生活の困窮

親子間の緊張関係

お弁当の会というゆるやかなこどもの時間

ある日のお弁当の会



学校でもなく
家庭でもない場所で
出会う人たち

そこで出会う人や場所への
信頼感

こどもが
「あのね」と話せて
「なあに？」「そうなんだ！」
聞いてくれるひとがいる場所
こどもにとって必要な場所

事業の始動



★古い空き家の格安賃貸

★市民の方から寄付の申し出



背中を押される



2025年度草の根育成助成の採択



さらに背中を押される

おいでよ！こどもの秘密基地♪の事業概要

目的	家庭や学校の中に居場所を見つけられないこども達を対象に、地域の大人や自分が住んでいる地域への信頼関係を育むことであなただけはここに居ていいんだよ、ということをこども達を感じられるような居場所作りを行っていく。
計画	こどもの居場所としてのホームグラウンドとなる場所を確保して調理環境はじめ居場所として過ごしやすいうように整える。食事やおやつを提供し、子ども達は好きなことをしながらその場所で顔馴染みのボランティアスタッフの大人や学生達と過ごす。そうしたことで、家庭でもなく学校でもない、そのこどもがこどもとして過ごすことができる居場所を提供していく。
具体的計画	4月～7月 貸家の内装の実施。不要となった家具をもらい受ける他、必要備品、調理道具を購入して居場所の環境を整える。 7月～8月 夏休み期間にトライアルとして週に1回、居場所としてこども達に開放する。こども食堂やフードパントリーの活動を通して連携している地域の民生委員やこども家庭支援センターにも連絡して居場所や食事が必要なこどもがいたら案内してもらうように相談していく。 9月以降 トライアル開催の状況をふまえて、今年度はおおよそ週に1回のペースで居場所として開催していく。
事業予算	対象経費 1,386,500円 助成金額 726,000円 内訳：主に修繕費、備品購入費、光熱費、学生講師費、食材費として申請
助成金額	329,000円



活動の様子







課題と今後について

課題 1 ; 新規のこどもが来ない

- 理由として
- ①平日の昼間という時間に学校に行っている子は来ない。ボランティアの学生も同様
 - ②課題を抱えている子どもは知らない場所に来ない
 - ③借りた場所が通常こども食堂を開催しているエリアでない地域

対応 こども家庭支援センター、スクールソーシャルワーカーと継続して連携していく

課題2 ; 開催の頻度が月に2回となっている

- 理由として ①継続して参加できるボランティアへの負担軽減

対応 高校生はルールを決めて使用していいことにしている
夏休みなどの長期休暇中は週1回開催

今後 ; 上記対応を継続しながら開催していく

この事業を通して感じたこと



こどもにとって

安心できる場所

今回の助成→居場所作りの基礎作り

今後について

時間をかけてゆっくりこの場所を育てていきたい



安心できるひと

居場所
場所と人への信頼感を育む
自分の存在についての
肯定感が生まれる。